

目標効果額設定項目における達成率

127.5%
(1,210,261千円/949,584千円)

歳入項目 **175.3%** (714,684千円/407,584千円) 歳出項目 **91.4%** (495,577千円/542,000千円)

基準設定に対する達成項目の割合

2項目 / 6項目
(33.3%)

歳入項目 **0項目 / 1項目** 歳出項目 **2項目 / 5項目**

- 1-1-1-1 金銭債権収入確保のための組織的対応**
目標効果額 71,000千円 実績 圧縮額 118,920千円 目標：達成
～徴収移管のための「中津川市債権回収一元化に関する事務取扱要領」による、事務の集約化と債権担当課との連携を強化～
- 1-1-1-2 その他収入の確保(行政財産の貸付料の見直し等)**
目標効果額 12,000千円 実績収入額11,666千円 目標：ほぼ達成
～入札による公共施設への自動販売機設置場所貸付、市有財産(施設)運用管理マスタープラン評価委員会の開催～
- 1-1-1-3 ふるさと納税の活用**
目標効果額 100,000千円 寄附実績額 407,328千円 目標：大幅達成
～平成31年4月1日総務省告示に基づいた制度運用を徹底するとともに、新たな地場産品等を拡充～
- 1-1-2-2 ごみ処理費の有料化(燃えるごみ、大型ごみ処理費の有料化)**
目標効果額
歳入 116,884千円 実績 106,025千円 目標：ほぼ達成
歳出 △8,000千円 実績 △12,571千円 目標：達成
～平成29年度に実施したごみ処理費手数料制度の導入効果によりごみの搬入量が減少、広報記事や回覧文書によるごみ減量の市民啓発～
- 1-1-2-3 下水道料金の見直し(経営審議会答申の遂行)**
目標効果額 77,000千円 実績額 61,840千円 目標：ほぼ達成
～H30年4月定額制廃止を実施、井戸メーター設置工事を524/557件完了～
- 1-2-1-2 施設の統廃合・民営化による効率的な人員配置**
目標効果額 55,200千円 実績 削減額 48,495千円 目標：ほぼ達成
～市有財産(施設)運用管理マスタープランの着実な実施～
- 1-2-2-1 市有財産(施設)運用管理マスタープランの実行による施設維持管理費の削減**
目標効果額 440,000千円 実績 削減額 393,300千円 目標：ほぼ達成
～計画の前倒しを含む19施設の統廃合、4施設の地域移譲を実施、市有財産(施設)運用管理マスタープランの改定と令和10年度までの取り組みを示した個別施設計画を策定～
- 1-2-3-1 市単独補助や上乗せ補助等の見直し**
目標効果額 94,000千円 実績額 89,706千円 目標：ほぼ達成
～各補助金等の内容について、必要性、費用対効果の面から評価し、予算措置及び適正化を図った。～
- 2-1 クアリゾート湯舟沢の民間譲渡と5法人及び道の駅の将来の方向性を決定**
目標効果額 △70,000千円 実績額 △79,000千円(クアリゾート湯舟沢及びびるかわ企画を民間譲渡したことで不用となる経費)
～計画の前倒しにより(株)クアリゾート湯舟沢を民間譲渡(平成28年11月に建物・土地・会社を譲渡、平成29年3月に第三セクターの清算を完了)～
～(株)びるかわ企画を民間譲渡(平成30年6月に建物・土地・会社を譲渡)～
～4法人の事業評価を行い、今後の方針を決定(R元評価結果)～
評価A(事業継続)：山口特産開発(株)、(一財)付知振興公社
評価B(抜本的な経営改善が必要)：(一財)稚の湖ふれあい村、(株)阿木レイクサイド
評価C(事業の存続を含めた検討が必要)：なし

- 1-2-4-1 特別会計・企業会計に係る料金等の見直し、コスト削減による繰出金の削減**
基準設定 繰出金総額 69億円以下 実績 67.7億円 基準クリア
内訳 特別会計：49.9億円 企業会計：17.8億円
～基準はクリアしたが、坂下診療所への基準外繰出し2.6億円発生～
- 1-2-7-1 実質収支の確保による財政調整基金の造成**
基準設定 実質収支1/2以上積立 実績 実質収支の58.6%積立 基準クリア
～平成30年度実質収支額 3,239,923,427円の58.6%に相当する19億円を積み立て～
令和元年度財政調整基金繰入金予算額は26.6億円に対し、実績繰入額は20億円
令和元年度末現在高 3,905,275,809円

- 1-2-5-1 市債の計画的発行(返す以上に借りない)**
公債費(一般会計) 基準設定38.2億円 実績額 36.6億円 基準クリア
～基準設定額以内となったが、「返す以上に借りない」とする方針は、達成することができなかった～
- 1-2-7-2 リニア中央新幹線まちづくり基金の計画的な造成**
方針の5億円に対し、3億円の基金積み立て 基準未達成
～令和元年度末現在高 3,513,749,061円～

- 1-1-4-1 「当該年度の元金償還額以内」とする市債発行ルールの遵守**
市債の発行 基準額30億円 実発行額 47.5億円 約17.5億円のオーバー
施設整備費に対する発行額の目安 15億円 実発行 38.4億円 約23.4億円のオーバー
～中期事業実施計画における大型事業の集中により、市債発行額が大幅に増加～
- 1-2-7-3 公共施設整備運営基金等の計画的な造成**
方針の3億円に対し、基金積み立てなし 基準未達成
～令和元年度末現在高 2,030,011,544円～
寄附金の使途目的指定分のみに対し取り崩し財源に充てた
取り崩し額

健康福祉会館空調設備更新工事	141,226,707円
苗木小学校25号棟屋上防水改修	50,875,000円
給食用備品購入	9,680,000円
消防指令システム及び消防デジタル無線設備機器更新工事	13,932,000円
阿木交流センター備品購入	50,211,360円
付知町振興公社寄附金分	12,659,207円
・道の駅花街道付知	2,544,300円
山口特産開発寄附金分	
・ごへ本舗	1,324,840円

- 1-1-5-1 市保有土地(未利用等)の売却や貸付等による利活用**
目標効果額 25,000千円 実績 売却額 8,812千円 目標：未達成
～業務委託契約及び管理システムの有効活用により、業務の効率化は図られているが、立地の良い未利用地が少なくなっており、不活となる案件もあり目標額には至らなかった。～

- 1-1-2-1 施設使用料減免の見直し(文化スポーツ施設)**
目標効果額 5,700千円 実績額 93千円 目標：未達成
～施設利用者の申請マナーの改善を実施したが、使用料減免規定の改正には至らなかった。市有財産(施設)運用管理マスタープラン評価委員会の提言のとおり、適正な使用料となるよう見直しが必要～